

スマイル ニュース

SMILE NEWS

191

男女共同参画推進委員会

パートナーなどの 呼び方について



今回はパートナーの呼び方について、皆さんと考えてみたいと思います。

よく「うちの主人が……」「うちの家内がさ～」「おたくの奥さん元気？」などの会話を耳にします。

主人には家のぬし、あるじという意味があり、家族の長を表しています。そのため妻は、夫に仕える者ということになり、夫婦間で上下関係が生じているように捉えられます。

また、女性は家の中にいて、家の奥で家事や仕事をしていたことから、「家内」や「奥さん」と古くから呼ばれてきたようです。

しかし、時代は変わり、今では家庭を持つ多くの女性が外で働いています。「家内」や「奥さん」という呼び方はもう現代にはそぐわないのではないのでしょうか。

日本の風習や文化から、主人、家内などの言葉が引き継がれ、現代では言葉が一人歩きしているような気がします。私自身も主人や奥さんという言葉を使うことがありますが、なるべく「妻」、「夫」と表現するように心がけています。ぜひ皆さんも言葉の意味を意識してみてください。

社会を構成している一番小さな単位が家族です。

夫婦間で思いやりを持ってパートナーを呼び合うことが、男女共同参画社会へつながる第一歩だと思っています。

皆さんは日頃パートナーを何と呼んでいますか？

【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会
(総務課総務担当内) ☎ 62-3117